
スーパーにて。

augusu

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スーパーにて。

【Zマーク】

N7911Z

【作者名】

a u g u s t

【あらすじ】 シヨートシヨート。

思わず、一度見した。

その後姿。

背は180あるかないか。短髪にワックスをかけてワイルドに搔き

あがつた髪型。

背広な背中に長い足。

少女は一目で、キュンと来た。

僅か一秒もない間に、その後姿に恋をした。

たまになら買い物の付き合いも良い。

母親に荷物持ちを頼まれて家から少し遠いスーパーに行つた。

学校から帰つたばかりだったのに、今日ばかりはなんとなく即諾した。

もう一度見たい。

その思いが少女を無言のまま歩き出させた。

どこだろう？ 制服を着ていたのだから学生だ。

お菓子とか、飲み物コーナーだろうか？ もしかしたらお酒の棚を見ていたりするワイルドな人かも。

勝手に想像の中で彼を勝手にコーディネイトしていく。

正面から見たらどうなんだろう？ 性格は？ スポーツはやつてい

そうだったな。

棚を作る想いの廊下を少女は一つ一つ覗いていく。

あの姿が無い。

そんなに広くはないのに。人がたくさんいるわけでもないのに。

あなたと私の距離は、たつた一目の距離。

しょせん、そんなものなのかな？

ふと、馬鹿な事をしている自分に我に帰つた。

たつた一度の後姿に、何を夢中になつてゐるんだろう?
帰ろう。夕ご飯はもう選んだんだし、あの姿は忘れよつ。
あつとい、忘れよつとしなくても、忘れてしまつんだし。

「…あれつ？」

何も言わずに歩き出した少女は、一緒に來ていた母をも見失つてい
た。

とんだ失態だつた。

5分ほど年甲斐もない迷子を体験した少女は帰りの車に向かつ途中
まで落胆していた。

その前を歩いていた、あの後姿。

ああ、もう一度見れた。それだけで迷つた甲斐もある。
少女はこの日の出来事を大事にしようと思つ。
明日友達に話そうとも思つ。

そんなどつた5分の、少女の恋愛話。

(後書き)

こんな経験ありますか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7911z/>

スーパーにて。

2011年12月25日14時52分発行